

教育及び保育の内容に関する全体的な計画

保育理念		望ましい環境のもと、一人一人の子どもたちの心の安定を図りながらよりよく生きる力の基礎を培う。保護者支援・地域の子育て家庭への支援に積極的に取り組む。							
保育方針		○子どものありのままを受けとめ、十分な信頼関係を築き心の安定を図る。 ○環境を整え、子どもの主体性を大切に、より良い成長、発達を促す。 ○保育所の専門性を生かし、保護者と、地域の子育てを支える。		保育目標		○元気で明るくのびのびとした子ども ○友だちとの関わり合いの中で、助け合ったり、いたわり合ったりできる思いやりのある子ども ○遊びを通して、何事にも意欲を持ち、自分でしようとする子ども			
★保育所の概要 国道45号線と三陸自動車道に挟まれ、商業地域として近年目覚ましく発展している蛇田・あけぼの地区を近隣に囲まれているが、閑静な住宅地に位置している。保育所周辺は緑も多く、大きな公園も数か所あり、自然に恵まれた環境にある。また、地域のコミュニティ活動が盛んで、地域の人々との触れ合いも積極的に行っている。東日本大震災以来、商業圏だけではなく住宅圏としての需要が大きく、人口の増加も著しい。復興が進む事でさらに人口が増えコミュニティも変化していくことと思う。公園に建っていた仮設住宅がなくなり、かつての子どもたちの遊びの場が戻りつつある。		★基本的社会的責任 ・児童福祉施設として、子育て支援や、地域の保育所としての役割を確実に果たす。 ・保育所職員は、保育の営みが子どもの人権を守るために法的・制度的に責任がある事の認識と理解をする。 ・保護者や地域社会と連携や交流を図り、風通しのよい運営をするとともに説明責任を果たす。 保育にあたり知り得た情報は正当な理由なく漏らしてはいけない。 ★小学校・中学校との連携 ・小、中学校等の交流・保育体験の受け入れ・保育所小学校連絡会・保育要録の送付。		★地域の実態に対応した事業 ・近隣に小学校や地区のコミュニティーセンターがある住宅地である。保育所周辺は古くから在住している高齢者世帯が多い。地域のコミュニティーが盛んで連帯感が強い。地域の高齢者との交流が多い。 ・地域高齢者との交流会への参加。地域を見守る民生児童委員の方々に「入所式」「運動会」「お別れ式」への招待。東日本大震災により、コミュニティーの様相も変わってきている。震災被害が少ない地域ということで、復興公営住宅の入居開始・住宅再建等で人口が増している。現在、地域のコミュニティー活動も復活し、交流が発達してきた。子育て情報発信の場、高齢者との交流、青少年の健全育成の場として、保育所の役割をいかして行きたい。					
		1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	支援児	小学校との連携	
保育目標		安心できる保育士との関わりの中で自分でしようとする気持ちが芽生える。	衛生的で安全な環境のもと、心身ともに、快適な生活を送る。	保育士や友だちと遊ぶ中で、自分の欲求や思いを自分なりの方法で表現する。	保育士や友だちと一緒に遊びながら、つながりを広げ集団としての行動が出来るように配慮する。	生活や遊びの中でひとつの目標に向かい、力を合わせて活動し、達成感や充実感をみんなで味わう。	生活や遊びの中で一人一人の目標に向かい、さまざまな方法で生活しやすい力を獲得していく。	小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培う。	
保 育 の 内 容									
養護	生命の保持	○特定の保育士との信頼関係がさらに深まり、愛着関係が育まれるように関わる。	○生活や遊びの中で自我が育つように関わりをもつ。 ○気候に応じて体調管理をする。	○基本的な生活習慣を身につけられるように援助する。 ○運動機能が高まるようにする。	○食事のマナーに気をつけながら、友だちと一緒に楽しく食べる。 ○活発に運動ができるように配慮する。	○健康に関心を持ち、生活に必要な習慣を身につけられるようにする。	○保健的で安全な環境の中で、生理的欲求を満たし、健康に過ごせるようにする。	◎小学校以上の教育との接続を鑑みて育みたい資質・能力は小学校以上の個別の「知識や技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」につながるものである。また、この資質・能力を実現するためにアクティブ・ラーニングを用いる	
	情緒の安定	○スキンシップにより、保育士との関わり心地よさや安心感を得るように関わる。	○子どもの気持ちを受容し、共感しながら継続的な信頼関係を築いていく。	○主体的な活動を促す環境を構成し探索意欲が高められるように見守る。	○子ども同士の遊びを豊かにし、友だちとの関係の中で徐々に自分を発揮できるようにする。	○活動を通して、褒めたり認めたりすることで、満足感を得て、自信をもてるようにする。			
教育	健康	○身の回りの簡単な事を自分でしようとする気持ちが芽生える。	○生活の中で援助をしてもらいながら、自分でできたことに喜びを感じる。	○身の回りを清潔にし、生活に必要な活動を自分からしようとする。	○自分の身体に関心をもち、健康、安全に必要な基本的な生活習慣を身につける。	○室内外の危険な物や場所、危険な行動を知り、気をつけて活動をする。 ○いろいろな運動に挑戦し達成感を味わう。	一人一人の特性に応じた援助を受けながら、基本的習慣を身につけ自立しようとする。	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10項目	
	人間関係	○保育士や友だちに関心をもち、真似をしたりして自ら関わろうとする。	○生活や遊びの中で、順番を待つなどの決まりがあることを知る。	○友だちとの簡単なルールのある遊びをする中で、決まりを守って遊ぶ。	○友だちとのつながりを深め、自分の力を発揮したり、友だちを認めたりして集団で活動することを楽しむ。	○遊びや行事を通して、友だちを応援したり、力を合わせる事の大切さを知る。	安定した関わりの中で、相手への親しみをもち安心して過ごす。	1. 健康な心と体 2. 自立心 3. 協同性 4. 道徳性・規範意識の芽生え 5. 社会生活との関わり	
	環境	○好きな玩具や遊具に興味をもち、様々な遊びを楽しむ。	○自然と触れ合う中で、興味や関心をもつ。	○興味や関心をもって自然や生き物に触れる。	○身近な物や遊具に興味をもって関わり、考えたり、試したりしながら工夫して遊ぶ。	○生活や遊びの中で簡単な環境や標識や文字などに関心を持つ。 ○身近な自然現象に触れ感性を豊かにする。	○生活や遊びの中で様々な経験を広げ、生きる力を身につけていく。	日々の生活や活動を通して様々な経験を広げ、生きる力を身につけていく。	6. 思考力の芽生え 7. 自然との関わり・生命尊重 8. 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
	言葉	○話しかけや、やり取りの中で声や言葉、身振り手振りなど、自分の気持ちを表そうとする。	○生活や遊びの中で、簡単な言葉のやりとりを楽しむ。	○友だちの話ややりとりを通して、言葉による表現が豊かになる。	○保育士や友だちとの会話を楽しみ、相手に伝わるように話す。	○人の話を聞いたり、身近な文字に触れたりして言葉への関心を広げる。	○人の話を聞いたり、身近な文字に触れたりして言葉への関心を広げる。	クラスの中では、お互いの特性を尊重し、支えあいながら、ともに楽しく過ごしていけるようにする。	9. 言葉による伝え合い
	表現	○保育士と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて身体を動かして遊ぶ。	○保育士や友だちと遊ぶ中で、自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ。	○いろいろな素材や用具に親しみ、友だちと工夫して遊ぶ。	○音楽に親しみ友だちと歌ったり合奏したりして、ひとつのものを作り上げる楽しさを味わう。	○友だちとイメージを共有しながら、想像力を広げ、様々な表現活動を楽しむ。	○友だちとイメージを共有しながら、想像力を広げ、様々な表現活動を楽しむ。	保育士は一人一人の良いところを見つけ、伸ばしていく。 (リフレーミング活用)	3. 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」
食育	食を営む力の基礎	○食べる事や食べ物に興味や関心をもつ。	○様々な食材に触れながら意欲的に食べるようになる。	○食べる事の楽しさと食事の大切さを知る。	○食事のマナーに気をつけながら、友だちと一緒に楽しく食べる。	○食事のマナーを身につけながら自分の体に必要な食品の種類や働きに気づきバランスよく食べる。	保育士は家庭や相談機関との連携を取りながら、一人一人にあった適切な支援をすすめていく。		
健康支援		・健康状態、発育発達状態の把握、継続的な把握 ・夏・冬・流行性の病気等、季節に応じた周知 ・年2回の嘱託医による内科健診、歯科健診 ・異常が認められたときの適切な対応 ・手指消毒の徹底			研修計画		・地区保育協議会研修参加 ・県子どもセンター・特別支援センター等の研修参加 ・支援児保護者との懇談、講演会の参加 ・支援保育研修会参加 ・所内研修の実施		
環境・衛生管理		・施設内外の設備、用具等の清掃、消毒、安全管理及び自主点検 ・子ども及び職員の清潔保持 ・砂場の砂の交換及び砂場の点検、消毒 ・来所者への対応(手指消毒・名簿の記入・体温測定等) ・感染状況に応じた行事の実施			特色ある保育		・食育(野菜の栽培・栽培物のクッキング) ・わらべうたを取り入れた保育 ・わくわく集会(全児、縦割り等) ・支援児保育 ・サッカー教室 ・絵本の貸し出し ・鼓隊活動		
安全対策事故防止		・毎月の避難訓練(火災・地震・不審者対応・津波発生)実施 ・年2回の消防点検 ・消防署による立入検査 ・消火訓練の実施 ・訓練後、実施の評価及び自分の大切さを伝え、自分の命を守る子どもを育てる ・安全教育年間計画 ・指定避難所への経路確認と実質的避難			地域への行事参加		・蛇田公民館作品展 ・老人クラブとの交流		
保護者・地域への支援		・保育参観 ・保育講演会の開催 ・子育て相談 ・関係機関との連携 ・保護者への個別支援 ・小学校との連携 ・中・高生のインターンシップの受け入れ ・養成校の実習生の受け入れ ・看護学校実習生の受け入れ ・保育ボランティアの受け入れ			自己評価		・保育所の評価(全体の反省による全体的な計画の反映) ・保育士の評価(自己評価と子どもの評価の確立) ・自己チェックリストの実施 ・第三者評価の理解		